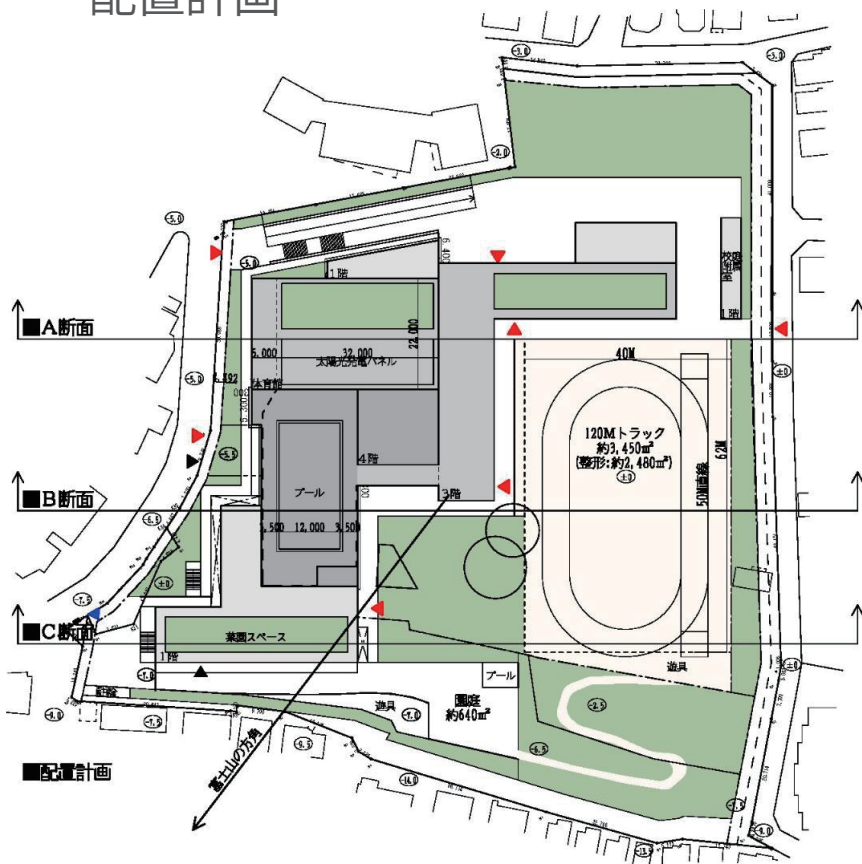
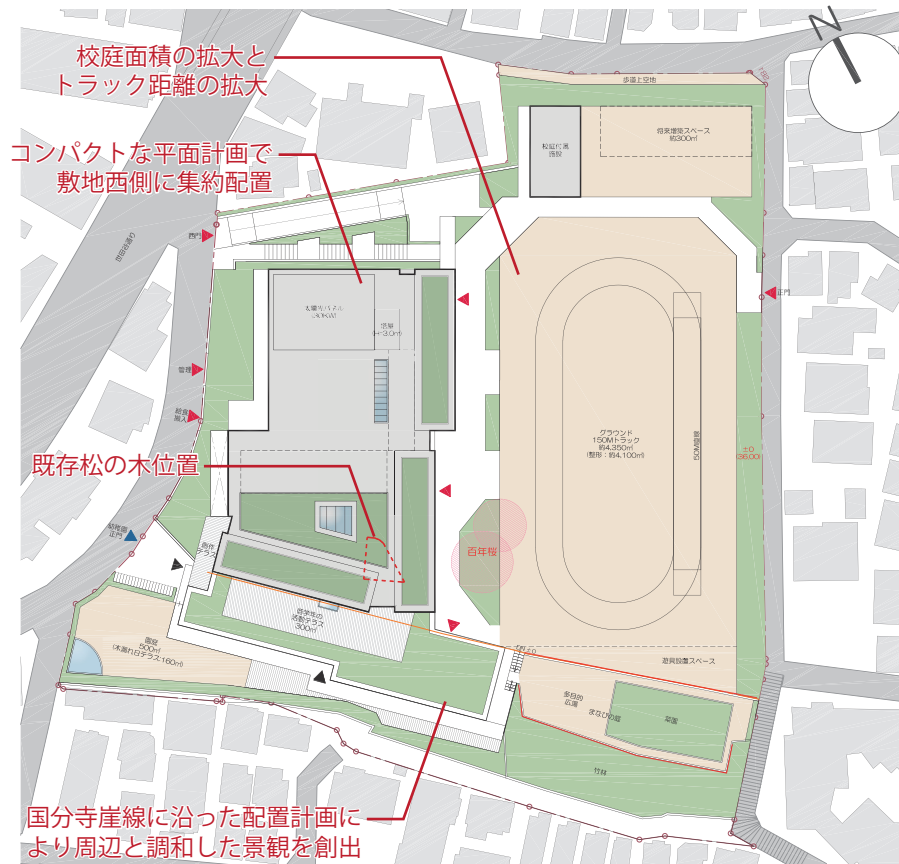


配置計画



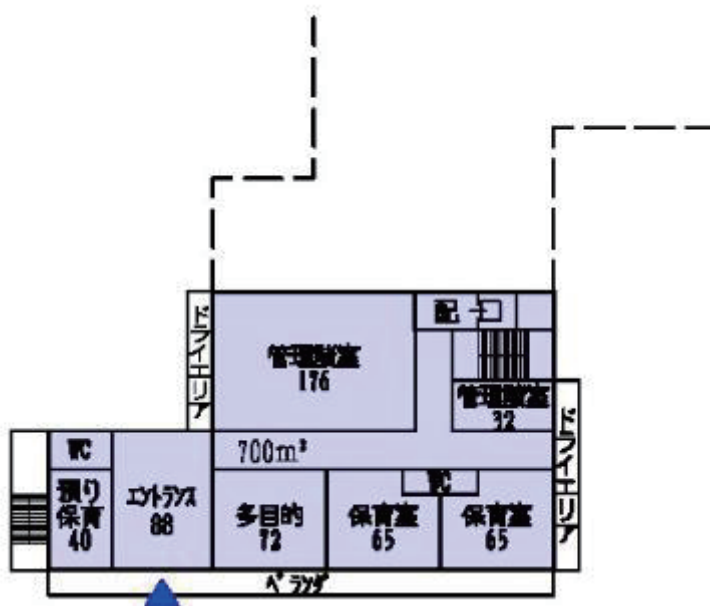
令和元年度 基本構想 (A-2 案)



たたき台

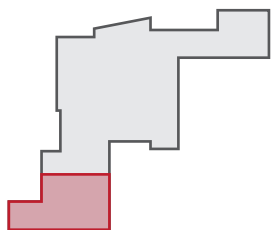
- ・雁行型の建物配置を敷地西側に集約し、移動距離の短縮
- ・コンパクトな平面計画による総外壁面積削減（工期短縮・コスト減）
- ・熱負荷の大きい西面の窓面積を抑えることで日射負荷の抑制とし、環境に配慮した校舎を計画
- ・校庭面積とトラック距離の拡大
- ・自校プールは設置せず、近隣校に整備される簡易温水プールを共同利用
- ・建物、校庭形状を整形とするため、松の木を移植等を検討
- ・校舎南側の国分寺崖線に沿った配置計画により、周辺と調和した景観を創出

—地下2階平面図—

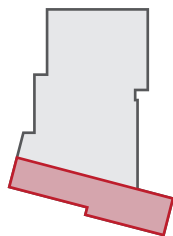


令和元年度 基本構想 (A-2 案)

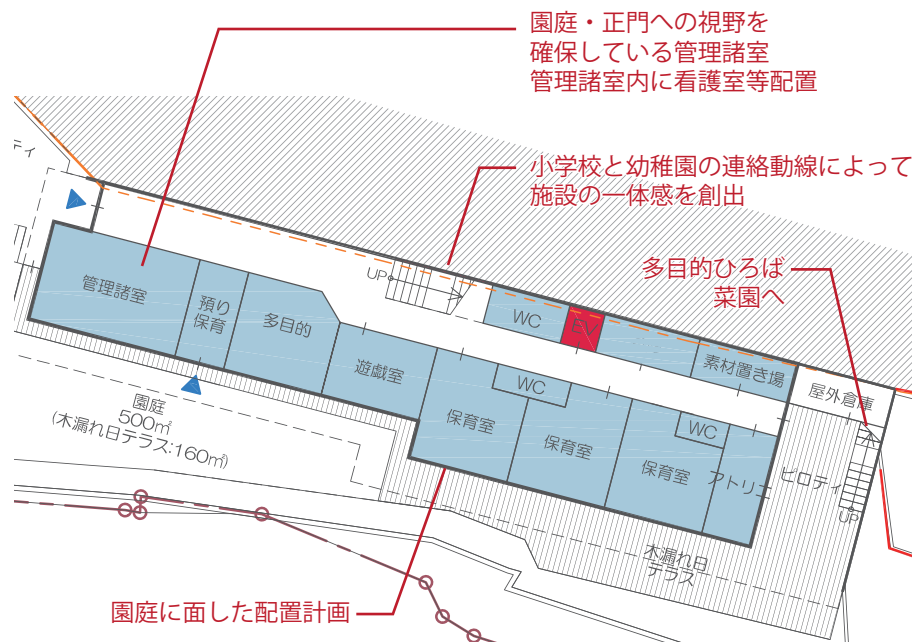
■キープラン



【基本構想】



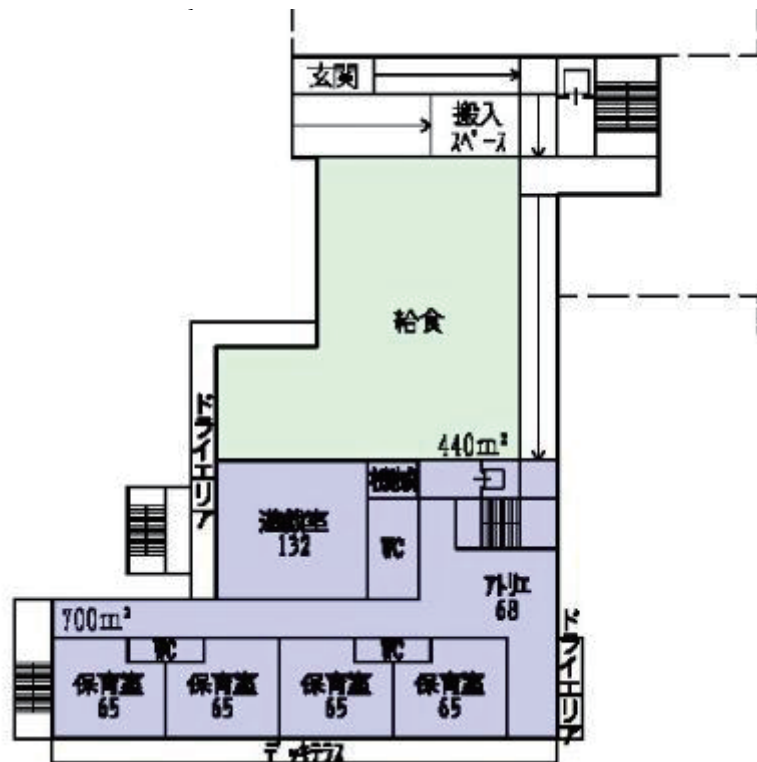
【第1次案】



たたき台

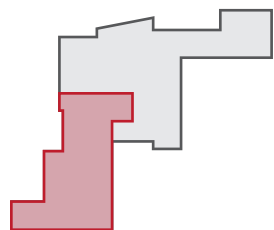
- ・ 幼稚園機能を地下2階に集約し、運営のしやすさを確保
- ・ 管理諸室を園庭側に配置し、園庭・正門への視野を確保
- ・ 全ての保育室から園庭に出入りしやすい配置
- ・ 小学校と幼稚園の連絡動線を設け、セキュリティに配慮しながら施設としての一体感を創出

—地下1階平面図—

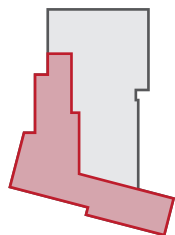


令和元年度 基本構想 (A-2 案)

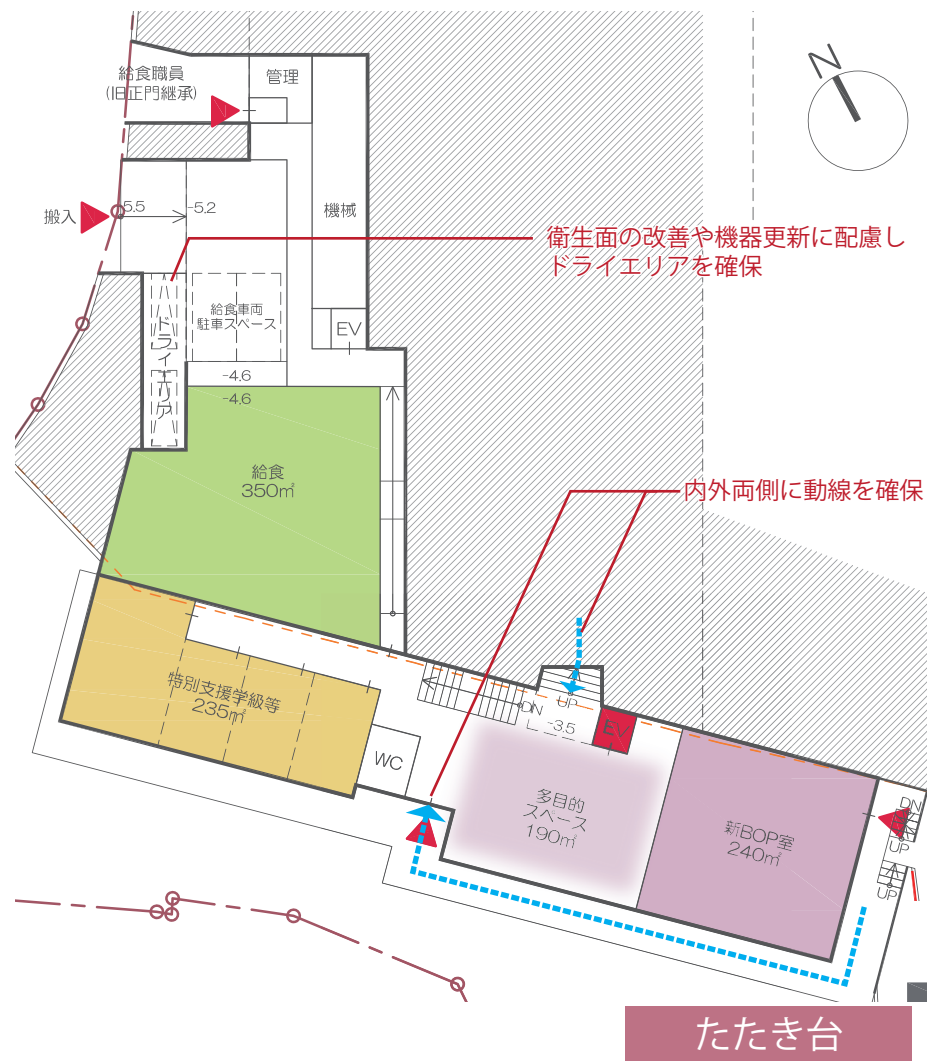
■ キープラン



【基本構想】

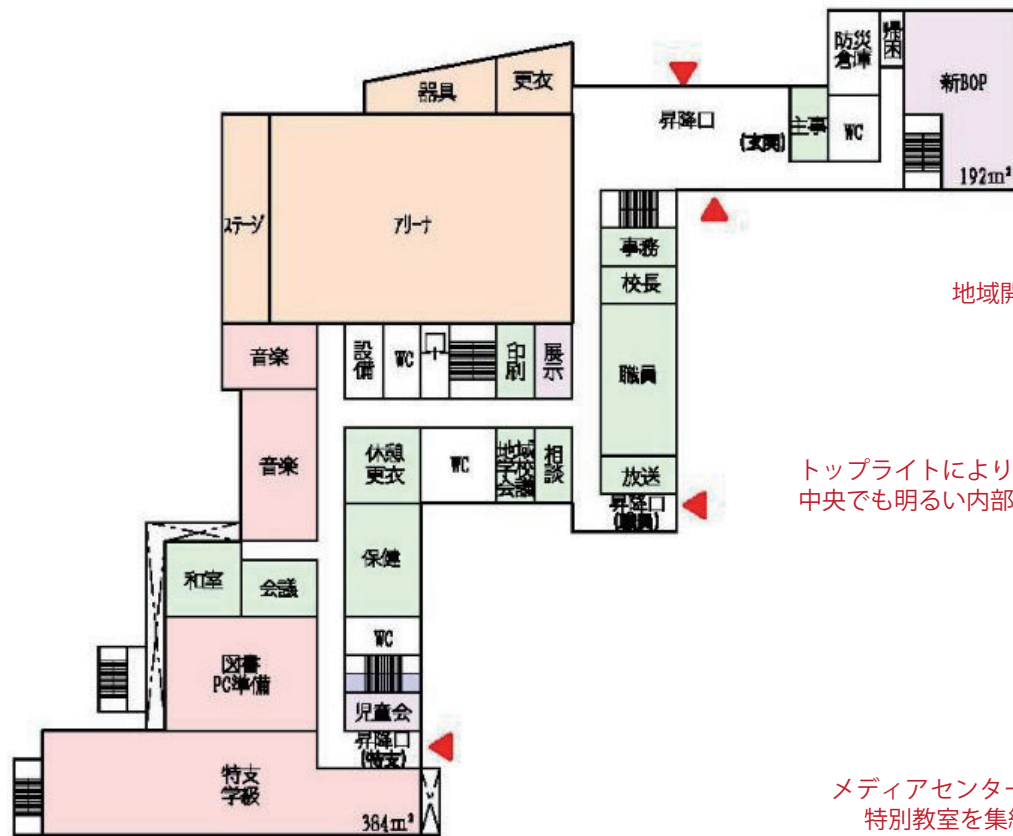


【第1次案】



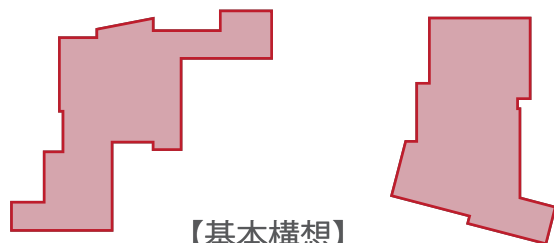
- ・地下1階の落ち着いた集中し易い環境に特別支援学級等を配置
- ・特別支援教室や新BOP室へ内外両側からのアクセスを可能にし、動線を分けつつ、施設としての一体感を創出
- ・衛生面の改善や機器更新に配慮したドライエリアを確保

— 1 階平面図 —



令和元年度 基本構想 (A-2 案)

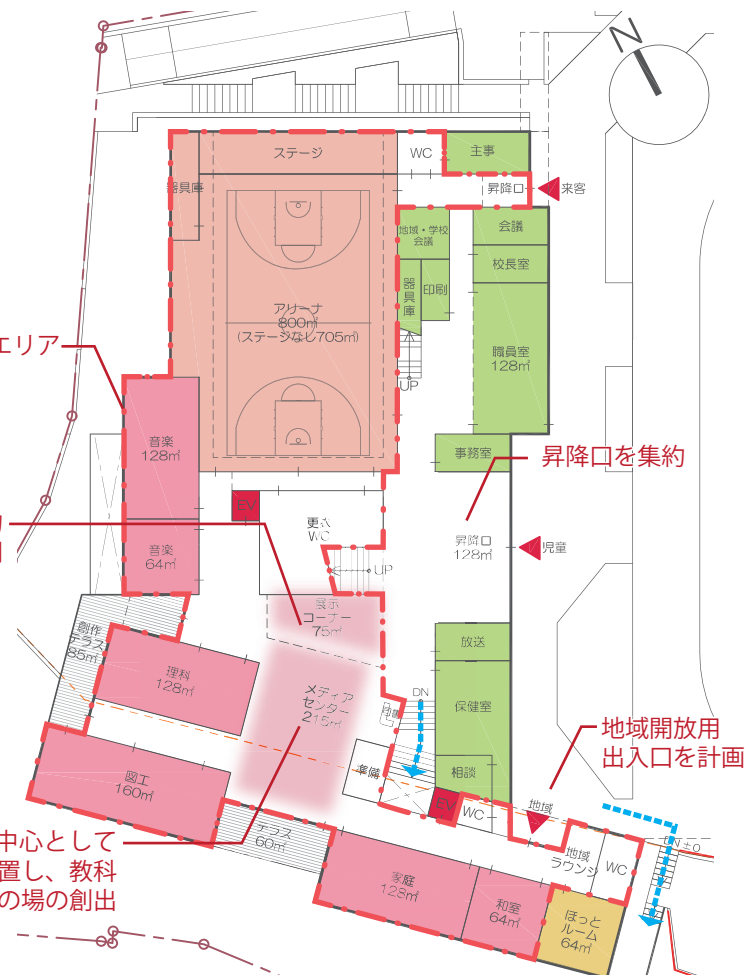
■ キープラン



地域開放エリア

トップライトにより建物中央でも明るい内部空間

メディアセンターを中心として
特別教室を集約配置し、教科
横断的な新しい学びの場の創出



たたき台

- ・インクルーシブな学校の顔として升降口を集約し、管理し易い動線計画
- ・メディアセンターを中心とし特別教室を集約、教科横断的な新しい学びに配慮
- ・地域開放エリアを1階に集約、地域開放専用玄関を設置した開かれた学校
- ・トップライトにより、建物中央に自然光を取り入れる計画